

太子高校は「みる」！

本年度は、「みる」をキーワードに、教育活動を展開します。校長通信では、太子高校が「今、みている」姿をお伝えできればと考えています。

体育大会の実り

今年は残暑がことのほか厳しかったので、体育大会はどうなることかと心配しましたが、予行も本番も暑さが和らぎ、熱中症の心配もあまりしなくてすみました。20日の当日は、午後から小雨がパラつき、肌寒いくらいでした。昨年は中止したフォークダンスも、雨の中、アンコールまで踊りきることができて、みんなが笑顔で終えることができました。

今年の体育大会で見つけた、本校生の実りです。

1 入場行進が立派でした

生徒会長をはじめとした生徒会メンバーの行進が見事でした。指先まで気を配った行進は、先頭を飾るにふさわしいものでした。続く3年次生から1年次生まで、どの学年の行進も立派でした。堂々と胸を張り、背中を伸ばし、腕を大きく振って歩く……。簡単なようですが、全員が自覚を持って歩かないところはいきません。太子高校生としての「自覚」を見ました。

2 生徒会が立派でした

「1」でも書いたように、堂々とした入場行進は全校生のお手本でした。でも、それだけではなく、手の空いている人は救護テントに回ったり、本部テントで連絡調整をしたりと、各自が自分で判断して行動していました。しかも、歩くのではなく駆け足で、です。予行も本番もその姿勢が変わることはありませんでした。全校生徒の代表としての「自覚」を見ました。

3 競技する姿が立派でした

全ての選手が、どの競技にも全力で参加していました。清々しい姿でした。運動が得意だとか不得意だとか、人はそれぞれです。でも、どんなに足が早くても手を抜かない事、どんなに遅くても投げやりにならない事。それが、人として大切なことです。だから清々しいのですね。全校生の、全力を出し切るという「自覚」を見ました。

ONE SHOT



弓道場の的を片付けておく場所です。外からのホコリや枯れ葉などが吹き込みやすい造りですが、いつ見てもちり一つ落ちていません。道具もあるべき場所にあるべき姿で置かれています。

日常の管理がきちんとできる力が、弓道部の強さを作っているのだと感心しました。学校生活だけではなく、生涯にわたって大切なことを身につけているということですね。

校長室もこうありたいと思い、大急ぎで整理整頓しました。

学校のカ・イ・ダ・ン

体育大会の保護者席では、後列の方にもグラウンドが見えるよう、前列の方々は椅子に座ったまま撮影されていました。また、本部横の指揮台前付近で撮影される方もありませんでした。こうした公衆マナーを守る姿勢で、毎日、ご家庭でも生徒を育ててくださっているのだと感じました。皆様、本当にありがとうございます。